



## 2025年2月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年10月4日

上場会社名 株式会社 カルラ 上場取引所 東  
 コード番号 2789 URL <http://www.re-marumatu.co.jp>  
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 井上 善行  
 問合せ先責任者（役職名） 経営企画室長（氏名） 小林 司 TEL 022-351-5888  
 半期報告書提出予定日 2024年10月11日 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

## 1. 2025年2月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年3月1日～2024年8月31日）

## （1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年2月期中間期	3,738	6.2	281	2.9	273	0.7	288	△19.4
2024年2月期中間期	3,519	17.8	273	—	271	777.1	357	—

（注）包括利益 2025年2月期中間期 288百万円（△19.4%） 2024年2月期中間期 357百万円（—%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年2月期中間期	49.98	—
2024年2月期中間期	59.48	—

## （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年2月期中間期	5,105	1,901	37.2
2024年2月期	5,576	1,650	29.5

（参考）自己資本 2025年2月期中間期 1,901百万円 2024年2月期 1,642百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年2月期	—	0.00	—	5.00	5.00
2025年2月期	—	0.00	—	—	—
2025年2月期（予想）	—	—	—	5.00	5.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2025年2月期の連結業績予想（2024年3月1日～2025年2月28日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,100	3.8	300	△13.9	300	△11.6	270	△38.2	46.84

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年2月期中間期	6,021,112株	2024年2月期	6,021,112株
2025年2月期中間期	256,756株	2024年2月期	256,756株
2025年2月期中間期	5,764,356株	2024年2月期中間期	6,007,356株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(中間期)

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当中間期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当中間期の財政状態の概況 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 中間連結貸借対照表 .....	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 .....	6
中間連結損益計算書	
中間連結会計期間 .....	6
中間連結包括利益計算書	
中間連結会計期間 .....	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(重要な後発事象) .....	9

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、国内需要の回復などによる社会経済活動の正常化が進み、景気は回復基調を見せております。一方で、ロシア・ウクライナ情勢の長期化に加え、中東情勢の緊迫化、為替市場の不安定などにより、原材料費の高騰が慢性化しており、依然として厳しい状況が続いております。

外食産業におきましては、インバウンド需要の活性化や個人消費の持ち直しにより国内の消費行動が回復し、経済活動が活発化しております。一方で、原材料費高騰の慢性化、人件費の上昇など、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような状況の下、当社グループでは、当期も引き続き、一人でも多くのお客様にご来店いただくために、「おもてなしの心」を当社グループの重点方針として掲げ、サービス力をはじめとしたQ S C（商品の品質、サービス、清潔さ）の向上による営業力の強化に取り組んでおります。

客数増加を目指した販売促進の取り組みとして、InstagramやX(旧Twitter)を活用した情報発信や折込、ポスティングによる広告チラシの配布といった、お客様のご来店を促すための営業活動を継続的に実施してまいりました。また、7月には、土用の丑の日に合わせてまるまつ全店で「うな重弁当」の販売促進を実施してまいりました。「うな重弁当」の販売におきましては、早期予約特典による割引を実施したことで、お客様に好評をいただいたこともあり、当社の予想を上回る販売数量を達成することが出来ました。

これらの取り組みをすすめた結果、当中間連結会計期間の売上高は37億38百万円(前年同期比6.2%増)、営業利益は2億81百万円(前年同期比2.9%増)、経常利益は2億73百万円(前年同期比0.7%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は2億88百万円(前年同期比19.4%減)となりました。なお、前中間連結会計期間において繰延税金資産を計上した結果、法人税等調整額の発生が△76百万円となり、大きく親会社株主に帰属する中間純利益を増加させることとなったため、当中間連結会計期間の親会社株主に帰属する中間純利益については減益となっております。

### (2) 当中間期の財政状態の概況

#### ①資産、負債及び純資産の状況

##### (資産)

当中間連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して4億71百万円減少し、51億5百万円となりました。

流動資産の合計は4億49百万円減少し、14億97百万円となりました。これは主に現金及び預金の減少5億59百万円によるものであります。

固定資産の合計は21百万円減少し、36億7百万円となりました。これは主に貸倒引当金が10百万円減少した一方、建物及び構築物が26百万円減少したことによるものであります。

##### (負債)

負債総額は、前連結会計年度末と比較して7億22百万円減少し、32億3百万円となりました。これは主に長期借入金6億68百万円、短期借入金75百万円減少したことによるものであります。

##### (純資産)

純資産は、前連結会計年度末と比較して2億51百万円増加し、19億1百万円となりました。これは主に利益剰余金2億59百万円増加したことによるものであります。

#### ②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末の現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ5億59百万円減少し、8億89百万円となりました。当中間連結会計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間において営業活動の結果得られた資金は、2億83百万円(前年同期は3億71百万円の収入)となりました。これは主に、税金等調整前中間純利益による増加3億6百万円、減価償却費の計上による増加69百万円、未払費用の増加66百万円があったことなどによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間において投資活動の結果使用した資金は、39百万円(前年同期は29百万円の収入)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出が48百万円あったことなどによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間において財務活動の結果使用した資金は、8億4百万円(前年同期は1億48百万円の支出)となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出が22億円に対して、長期借入れによる収入15億円あったことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年2月期の連結業績予想につきましては、2024年4月5日に公表いたしました「2024年2月期決算短信〔日本基準〕(連結)」の数値から変更はありません。なお、業績予想につきましては、当該資料の公表日現在において当社が入手した情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年2月29日)	当中間連結会計期間 (2024年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,558,750	999,198
売掛金	86,644	137,189
商品及び製品	181,678	224,861
原材料及び貯蔵品	27,745	30,304
その他	92,317	105,988
流動資産合計	1,947,136	1,497,543
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	869,812	842,896
機械装置及び運搬具 (純額)	55,638	63,029
工具、器具及び備品 (純額)	61,064	65,529
土地	1,862,824	1,862,824
建設仮勘定	3,135	—
有形固定資産合計	2,852,474	2,834,280
無形固定資産		
投資その他の資産	112,347	109,058
投資有価証券	283	283
長期貸付金	33,265	25,813
敷金及び保証金	497,765	496,773
繰延税金資産	127,286	125,620
その他	17,914	17,539
貸倒引当金	△12,209	△1,892
投資その他の資産合計	664,304	664,136
固定資産合計	3,629,126	3,607,475
資産合計	5,576,263	5,105,018
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	164,910	190,321
短期借入金	75,000	—
1年内返済予定の長期借入金	781,856	749,702
未払法人税等	33,971	16,908
賞与引当金	36,799	28,946
資産除去債務	—	748
未払費用	202,769	263,295
契約負債	30,760	31,524
その他	192,023	187,228
流動負債合計	1,518,090	1,468,675
固定負債		
長期借入金	2,160,042	1,491,522
長期末払金	10,400	10,400
資産除去債務	163,039	162,806
その他	74,541	70,025
固定負債合計	2,408,022	1,734,754
負債合計	3,926,112	3,203,429

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2024年2月29日)	当中間連結会計期間 (2024年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	50,000	50,000
資本剰余金	1,370,517	1,370,517
利益剰余金	373,137	632,429
自己株式	△151,358	△151,358
株主資本合計	1,642,296	1,901,589
新株予約権	7,854	—
純資産合計	1,650,150	1,901,589
負債純資産合計	5,576,263	5,105,018

## (2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

## 中間連結損益計算書

## 中間連結会計期間

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)
売上高	3,519,900	3,738,044
売上原価	1,017,980	1,089,158
売上総利益	2,501,919	2,648,886
販売費及び一般管理費	2,228,281	2,367,445
営業利益	273,638	281,441
営業外収益		
受取利息	1,724	703
協賛金収入	4,657	3,868
受取賃貸料	37,530	34,738
その他	6,932	6,302
営業外収益合計	50,845	45,613
営業外費用		
支払利息	20,448	23,546
賃貸費用	29,960	27,708
その他	2,571	2,410
営業外費用合計	52,980	53,665
経常利益	271,502	273,388
特別利益		
固定資産売却益	36,922	363
受取補償金	—	25,098
新株予約権戻入益	34	7,854
特別利益合計	36,956	33,315
特別損失		
店舗閉鎖損失	5,667	—
減損損失	4,897	—
固定資産除却損	0	15
特別損失合計	10,565	15
税金等調整前中間純利益	297,893	306,688
法人税、住民税及び事業税	16,949	16,908
法人税等調整額	△76,369	1,665
法人税等合計	△59,420	18,574
中間純利益	357,314	288,114
親会社株主に帰属する中間純利益	357,314	288,114

## 中間連結包括利益計算書

中間連結会計期間

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)
中間純利益	357,314	288,114
中間包括利益	357,314	288,114
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	357,314	288,114

## (3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益	297,893	306,688
減価償却費	70,330	69,683
減損損失	4,897	—
新株予約権戻入益	△34	△7,854
受取利息	△1,724	△703
支払利息	20,448	23,546
固定資産除却損	0	15
固定資産売却損益 (△は益)	△36,922	△363
受取補償金	—	△25,098
店舗閉鎖損失	5,667	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△2,287	△10,317
賞与引当金の増減額 (△は減少)	6,115	△7,852
店舗閉鎖損失引当金の増減額 (△は減少)	△12,672	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△32,819	△50,545
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,459	△45,741
仕入債務の増減額 (△は減少)	63,822	25,410
未払金の増減額 (△は減少)	△3,716	37,204
未払費用の増減額 (△は減少)	58,010	66,596
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△2,923	△38,612
契約負債の増減額 (△は減少)	2,631	763
その他	△11,615	△21,144
小計	423,640	321,676
利息の受取額	102	87
利息の支払額	△20,440	△29,152
法人税等の支払額	△31,364	△33,971
補償金の受取額	—	25,098
営業活動によるキャッシュ・フロー	371,937	283,737
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△23,876	△48,558
無形固定資産の取得による支出	△4,226	△200
有形固定資産の売却による収入	48,376	363
貸付けによる支出	△3,145	△1,385
貸付金の回収による収入	15,003	10,385
敷金及び保証金の差入による支出	△49	—
敷金及び保証金の回収による収入	8,071	1,061
その他	△10,821	△921
投資活動によるキャッシュ・フロー	29,334	△39,254
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△12,500	△75,000
長期借入れによる収入	300,000	1,500,000
長期借入金の返済による支出	△436,088	△2,200,674
配当金の支払額	△0	△28,360
財務活動によるキャッシュ・フロー	△148,588	△804,034
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	252,682	△559,551
現金及び現金同等物の期首残高	1,165,500	1,448,748
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,418,183	889,197

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。